

国際会議から 第11回鉄道騒音国際ワークショップ (IWRN11)

本会議は、鉄道に係わる騒音・振動に特化した会議です。この会議は、欧米などの国鉄、大学関係者やコンサルタント会社で構成された国際委員が選んだ研究機関などによって開催されます。この国際委員には鉄道総研から飯田環境工学研究部長が参加しています。第1回は1976年に英国ダービーで開催され、前回第10回は鉄道総研主催で長浜において開催されました。第11回である今回はスウェーデン・ウッデバラで行われました。これまでの開催場所は主催団体の国における保養地などで行われ、今回のウッデバラもイエテボリから北50kmほどに位置し、入り組んだ湾を望む風光明媚なところでした。参加国は欧州各国が中心でしたが、他にもオーストラリア、中国などからも多くの参加者がありました。本会議での口頭およびポスターによる発表件数は93件で、全参加者が同じセッションを聴く形式で行われました。



全参加者による記念写真
Reproduced by courtesy of Chalmers University of Technology, photographer Lars Hansson.



IWRN11 参加者
(左から飯田部長、光用副主任、北川)

北川敏樹
環境工学研究部
騒音解析研究室
室長

本会議では、鉄道騒音・振動に関する幅広いテーマを取り扱い、転動音、空力音などの音源に関する研究、測定技術に関する開発や騒音政策などに関する発表が行われました。特に、今回の会議では地盤振動に関する研究発表が数多く行われ、欧米でのこの分野に対する関心の高さを感じました。筆者は、レール継目部で生じる衝撃音と防音壁に関する2つの研究について発表を行い、集電力学研究室光用副主任研究員が流れ場制御による舟体空力音低減に関する研究を発表しました。

スウェーデン国内の移動には鉄道、バスを利用しました。老若男女多くの乗客がごく普通にスマートフォンを利用して交通を利用しており、北欧地域の交通におけるICT技術の浸透を感じました。

正式名称：IWRN11：11th International Workshop of Railway Noise
開催国：スウェーデン(ウッデバラ)
期 間：2013/9/9～9/13
主 催：Chalmers University of Technology
開催頻度：1回/3年
次回開催予定：未定
ホームページURL：<http://www.chalmers.se/am/iwrn11-en/home>